

国語 言語文化	科目 言語文化 (必修) 授業時数 2 単位 履修学年 1・2 学年
--	--

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
日本文学編－近現代 ・とんかつ(三浦哲朗) 日本文学編－古文 ・古文の学習 ・児のそら寝	5 5	日本文学編－近現代 ・羅生門(芥川龍之介) 日本文学編－古文 ・高名の木登り	10 5	日本文学編－近現代 ・道程(高村光太郎) ・二十億光年の孤独(谷川俊太郎) 日本文学編－古文 ・春はあけぼの ・筒井筒	2 8

教材
教科書:「標準 言語文化」 第一学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」京都書房 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、その知識を活用することができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、その知識を活用することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができる。
	習得する (わかる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲（論文・レポートなどの自主的な取組も含む）

単元別 評価規準

とんかつ（三浦哲朗）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用することができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解し、その知識を活用することができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解し、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えて、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について理解し、批評することができる。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめることができる。
	習得する (わかる)	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	・冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について理解している。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。

古文入門

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、その知識を活用することができる。 ・我が国の言語文化の特質について理解し、その知識を活用することができる。 ・時間の経過などによる文字の変化について理解を深め、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつことができる。
	習得する (わかる)	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 ・時間の経過などによる文字の変化について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。

児のそら寝

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 ・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めその知識を活用することができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合うことができる。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり、説明することができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 ・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めることができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。

羅生門（芥川龍之介）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用することができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解し、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えることができる。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明することができる。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめることができる。
	習得する (わかる)	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえることができる。	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。

高名の木登り

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、評価することができる。	・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価することができる。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めることができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。

道程（高村光太郎）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、評価している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解することができる。 ・詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ることができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。

二十億光年の孤独（谷川俊太郎）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、その知識を活用することができる。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、評価している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解することができる。 ・この詩の発想のおもしろさを積極的に考え、表現に即して説明することができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・この詩の発想のおもしろさを積極的に考え、表現に即して説明しようとしている。

春はあけぼの

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 - 時間の経過による言葉の変化について理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深め、その知識を活用することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えて、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	- 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めることができる。 - 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合うことができる。
	習得する (わかる)	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 - 時間の経過による言葉の変化について理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めることができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	- 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 - 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。

筒井筒

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深め、その知識を活用することができる。 - 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	- 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えることができる。 - 古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解することができる。
	習得する (わかる)	- 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 - 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	- 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 - 古文読解における助動詞の重要性について理解し、学習の見通しをもって助動詞の意味とはたらきを理解しようとしている。